

まつやま 子規亭 □ 通信

～ 秋号 ～

みんなでのぞこう。 イッセー尾形の 「妄ソー劇場 文豪カバーその2」

イッセー尾形さんが、こんなことを言っています。

「他の地域のみなさんにはそんなことは無いのですが、何故か松山のみなさんには『ネタ、せっせと作ってます』と言いたくなるのです（笑）。さて、新ネタは漱石の次からです。文豪総ざらいを目指すことに、今のところ決めてまして、文豪カバーと勝手に名付けております。ぜひぜひ足をお運び下さい。 イッセー」

この「文豪カバー」という言葉は、「カバー曲」の「カバー」から来ています。つまり、この一人芝居「妄ソー劇場」では、イッセーさんが体現する感想文。必ずしもオリジナルと同じではありません。イッセーさんの感想文、皆さんものぞきに来ませんか？

本を事前に読む必要はありません。むしろ、読まないでください。読んでいてもなかったことに…。



◀ ゴーゴリ 作 『外套』

今回の作品の中で、意外と本に忠実？な一人芝居。

横光利一 作 『機械』 ▶

大坂のおばちゃんに託した、『機械』。…いますよね、こういうおばちゃん。



◀ 川端康成 作 『浅草紅団』

あり得ない話を立体紙芝居で表現。立体紙芝居って？写真、見えないよ…それは、来てのお楽しみ！

太宰治 作 『斜陽』 ▶

主人公、かず子は40年後、なぜか北の大地、オーロラ銀座のパブにいた…。



イッセーさん曰く、「どのお話もぼくなりのおハッピーエンドなお芝居です。」とのこと。

この他にも、プロレタリア文学から1作品の計5本する予定です。

秋の夜長、イッセーさんのお芝居を見て、気になる本を読んでみてはいかがでしょうか。

イッセー尾形のみんなでのぞこう。イッセー尾形の「妄ソー劇場 文豪カバーその2」
まつやま子規亭 第2夜 11月10日(土) 18時開場(予定) 18時半開演 チケット販売